

# 市民プールの今後のあり方について



令和元年10月30日

観光・シティプロモーション推進部  
教育委員会

文化・スポーツ振興課  
施設課  
学校教育課

# 目 次

1. 「恩田市民プール」の現状	P 1
①利用者数	P 2
②維持管理費、老朽度等	P 3
2. 「民間プール」の現状	P 4
3. 恩田運動公園スポーツパーク整備事業①	P 5
恩田運動公園スポーツパーク整備事業②	P 6
4. 「恩田市民プールについて」アンケート結果①	P 7
「恩田市民プールについて」アンケート結果②	P 8
5. 「恩田市民プール」の方向性	P 9
6. 「学校プール」の現状 設置年	P10
7. 「学校プール」の統廃合の可能性（メリット・デメリット）	P11
8. 現時点で検討されている方向性の概要①	P12
現時点で検討されている方向性の概要②	P13
9. 「学校プール」の総コスト（屋外プール新設）	P14
10. 「公共プール」の総コスト（屋内プール新設）	P15

# 1. 「恩田市民プール」の現状

名称：恩田運動公園 水泳プール（昭和33年開園）

施設：50mプール：9コース、25mプール：5コース、徒渉プール、本館、ポンプ室

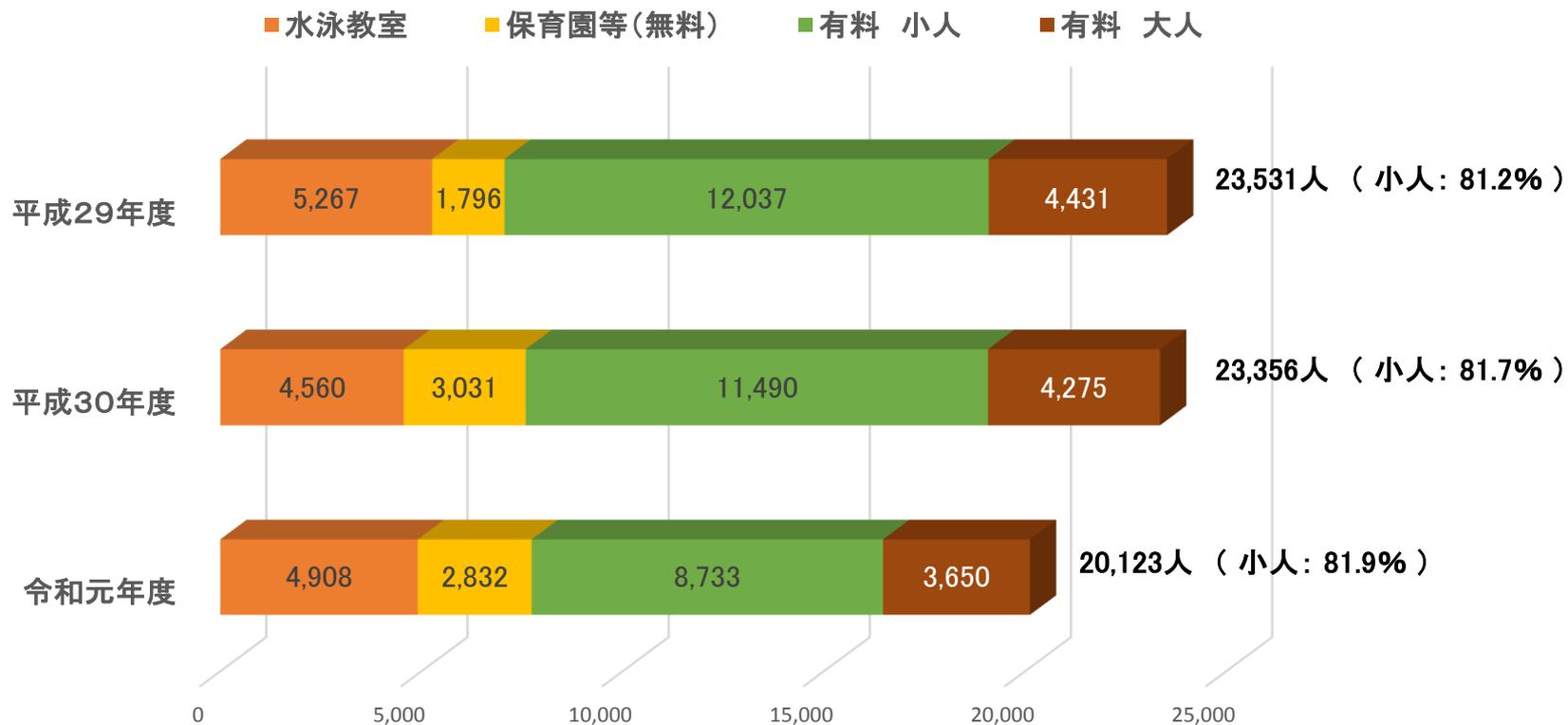
利用料：2歳以下：無料 3歳以上～中学生以下：70円 高校生以上：160円



# 1. 「恩田市民プール」の現状

## ① 利用者数

### 利用状況



# 1. 「恩田市民プール」の現状

## ②維持管理費・老朽度

### 維持管理費

		平成30年度	平成29年度	平成28年度
収入	利用料	1,448,160	1,551,550	1,659,980
支出	支出計	13,609,684	12,338,425	12,995,572

### 支出内訳

人件費	6,187,688	5,872,608	6,637,126
消耗品費	1,184,834	1,002,957	1,030,319
役務費	149,553	168,118	180,177
維持管理費			
清掃	743,688	743,688	791,208
保守	184,614	179,280	179,280
電気料	1,501,734	1,319,006	1,228,358
水道料	2,379,311	2,354,048	2,300,229
ガス料	15,163	15,647	16,737
燃料費	18,079	19,379	12,353
修繕費	981,793	555,444	437,950
その他経費	263,227	108,250	181,835

### 老朽度

①各所に木の根が排水溝に伸びている



②耐震性能を満たしていない管理棟の各所で、コンクリートが剥離



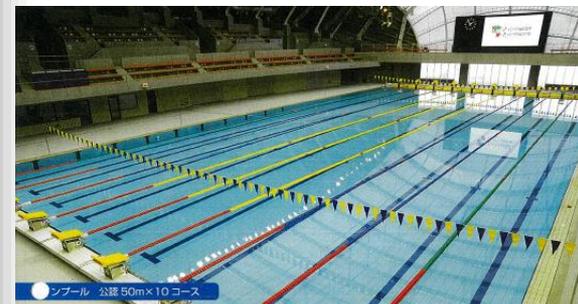
③設備の老朽化（ろ過器、配管）



## 2. 「民間プール」の現状



- ①山口県きらら博記念公園水泳プール  
 公認50m:10コース 公認25m:10コース  
 小学校～中学校 270円(夏季 230円)  
 高等学校～大学 540円(夏季 480円)  
 その他の者 820円(夏季 720円)



- ②ココランド  
 25m、子どもプール、スライダー  
 大人(高校生以上)1,000円  
 中人(中学生)600円 小人(3歳～小学生)500円



- ⑥山陽小野田市民プール  
 50mプール 25mプール 幼児プール  
 大人 110円 小人(中学生～4歳)50円  
 乳幼児(0歳～3歳)無料



- ⑤はるおかスイミング



- ④防長スイミングスクール



- ③SSS 宇部店



### 3. 恩田運動公園スポーツパーク整備事業①

56年ぶりに東京で開催される2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、新たに若者を惹きつける都市型スポーツが追加されるなど、時の流れとともにスポーツの楽しみ方が変化している。

また、生涯を通じて心豊かな生活をするために「健康」であることへのニーズが高まり、運動・スポーツの目的やジャンルも多様化している。

構想のコンセプトを

**「スポーツからストリートカルチャーまで」**

として、恩田スポーツパークは新たな魅力とにぎわいを創出します。

1963年の山口国体に併せて開園し55年が経過した恩田スポーツパークでは、単なる老朽化したスポーツ施設のリニューアルにとどまらず、将来の全市的な恩田スポーツパークの活性化を促すため、「健康」をテーマに既存のストックを活用（老朽化施設の健全化）するとともに、新たな魅力としてストリートカルチャー（若者文化）を付加することで、多世代にわたる市民が訪れ、健康な体と心を育て、若者でにぎわう場を創出を目指して整備する。



山口国体に向けて整備中の恩田運動公園（1962年頃）



# 3. 恩田運動公園スポーツパーク整備事業②

## A. ボールパークゾーン

小学生から高齢者までの各種全国大会等の開催とともに、大学生や社会人が合宿等で長期滞在して利用できる環境として、野球、サッカー、ラグビーなど多目的に利用が可能なグラウンドを整備する。

## B. ランニングゾーン

陸上競技にとどまらず、生活習慣病の予防にも効果的であり、健康の維持増進のために推奨されているランニングやウォーキングをいつでも安全に出来る環境を整備する。また、400mトラックのインフィールドについても多目的に利用できるように整備する。



## C. アリーナゾーン

天候に左右されないアリーナのロビーや控室を使って、新たなスポーツなどが体験できるように整備する。

## D. ストリートカルチャーゾーン

老朽化したプールは、民間プールや市内小中学校の利用等を踏まえて一旦廃止し、陸上競技場のメインスタンドと併せてスポーツパークの核として、にぎわいを創出する環境を整備する。



# 4. 「恩田市民プールについて」アンケート結果①

## 調査方法

調査期間 令和元年7月1日（月）～8月31日（土）

調査方法 ◆①無作為抽出 + ②インターネット市民モニター

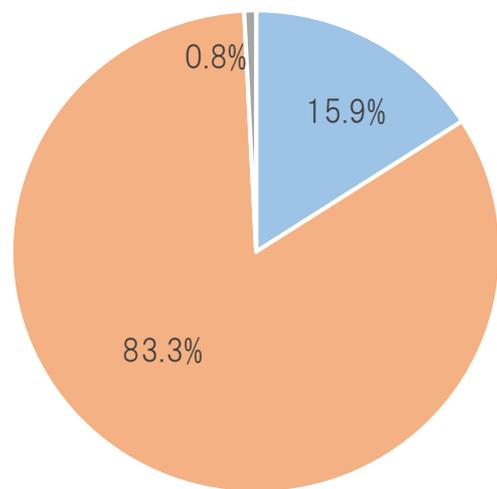
①校区别、年齢構成別を実施（16歳以上、75歳以下） 約2,000名を対象に郵送

回答者数 644名（回答率約32%）

②メール到達モニター数464名 回答者数 123名（回答率約27%）

### ① 恩田市民プールを利用していますか

利用している	122人
利用していない	639人
無回答	6人



恩田プールを利用していると回答した方は、全体の15.9%（122/767人）。他方、利用していないという回答は、83.3%（639/767人）を占めている。

プール利用者は、「子育て世代」の利用が多く、全体の43.8%（30歳代：20.5%、40歳代：23.8%）であり、利用の理由は、上位が「利用料が安い（63.9%）」「子どもを遊ばせる（60.7%）」であった。

他方、利用しない理由は、「遊ばせる年齢の子どもがいない」が最も多く48.8%を占めたことから、利用しない人の年代の上位は、「60歳代：28.6%」「50歳代：20.8%」「40歳代：17.2%」であった。

#### 利用していない理由

項目	比率
1 遊ばせる年齢の子どもがいないから	48.8%
2 家から遠いから	21.3%
3 施設が古いから	13.3%
4 他に利用しているプールがあるから	5.2%
5 利用料が高いから	0.3%

#### 利用している理由

項目	比率
1 利用料が安いから	63.9%
2 子どもを遊ばせるのにちょうど良い	60.7%
3 昔から利用している（愛着がある）	36.1%
4 家から近いから	34.4%
5 他に利用できるプールがないから	16.4%
6 水泳教室に参加するため	10.7%

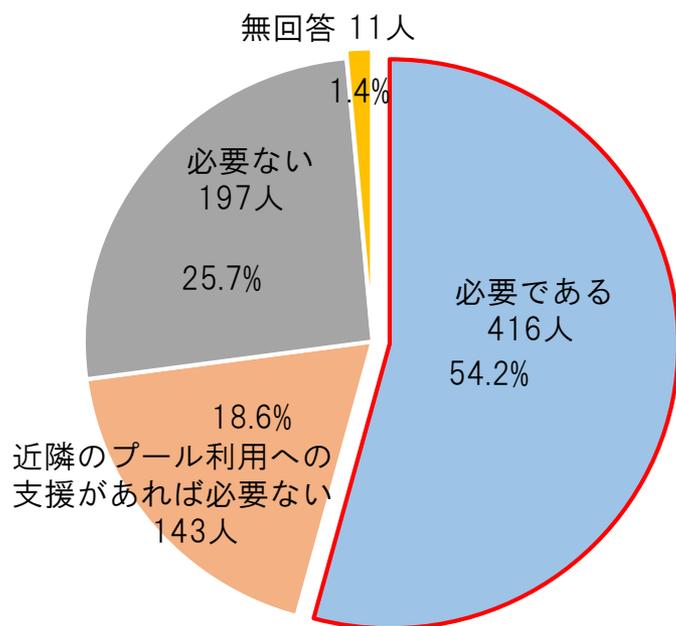
## 4. 「恩田市民プールについて」アンケート結果②

### ② 既存の恩田市民プールを解体後、新たなプールが必要だと思いますか

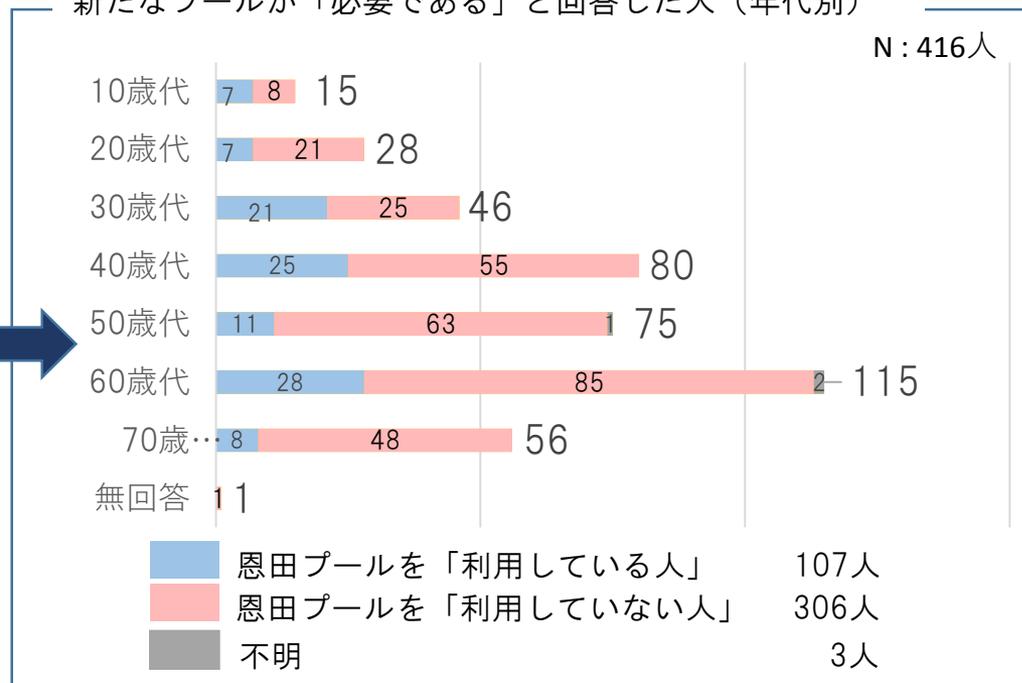
新たなプールが「必要である」と回答した方は、全体の54.2%（416/767人）を占めている。他方、「近隣のプールへの支援」や「必要ない」と回答した方は、44.3%（340/767人）であった。

「必要である」と回答した方の内訳として、恩田プールを「利用している人」が25.7%（107/416人）、「利用しない人」が73.5%（306/416人）であった。また、必要なプール施設は、「屋内25mプール」「屋内子どもプール」が上位である。

「必要ない」と回答された方は、近隣のプール利用の支援として、「利用料への支援」68.2%が占め、次に「交通手段の支援」21.7%であった。



新たなプールが「必要である」と回答した人（年代別）



# 5. 「恩田市民プール」の方向性

## (1) 恩田スポーツパーク構想

開設以来60年が経過して施設の老朽化が著しく、近い将来使用が困難となることから、「恩田スポーツパーク構想」においては、「恩田市民プールは、一旦廃止する。」こととした。

- ◆現行プールの長寿命化改修にも多額の費用がかかる。
- ◆各小中学校にプールがある。
- ◆市内には民間プールが4か所ある。
- ◆隣接する山口市阿知須には県立の施設、山陽小野田市には、市民プールがある。

## (2) 市民の意向 - アンケート結果から -

- ①プールの利用目的は、レジャーが中心（80%）
- ②必要なプールは、「25mプール」（第1位）、「子供用プール」（第2位）
- ③利用者の多くは期間中2～3回、子どもを遊ばせにいく（60%）
- ④児童生徒は、恩田市民プール周辺の利用者が多い  
恩田・常盤：75% 南部：51% 東部：45% 西部：27% 北部：7%  
※一般アンケートでは、南部：35% 恩田・常盤：25% 東部：21%  
利用しなかった理由「行く時間がない」（第1位）、「家から遠い」（第2位）

### 【(1)と(2)を踏まえた方向性】

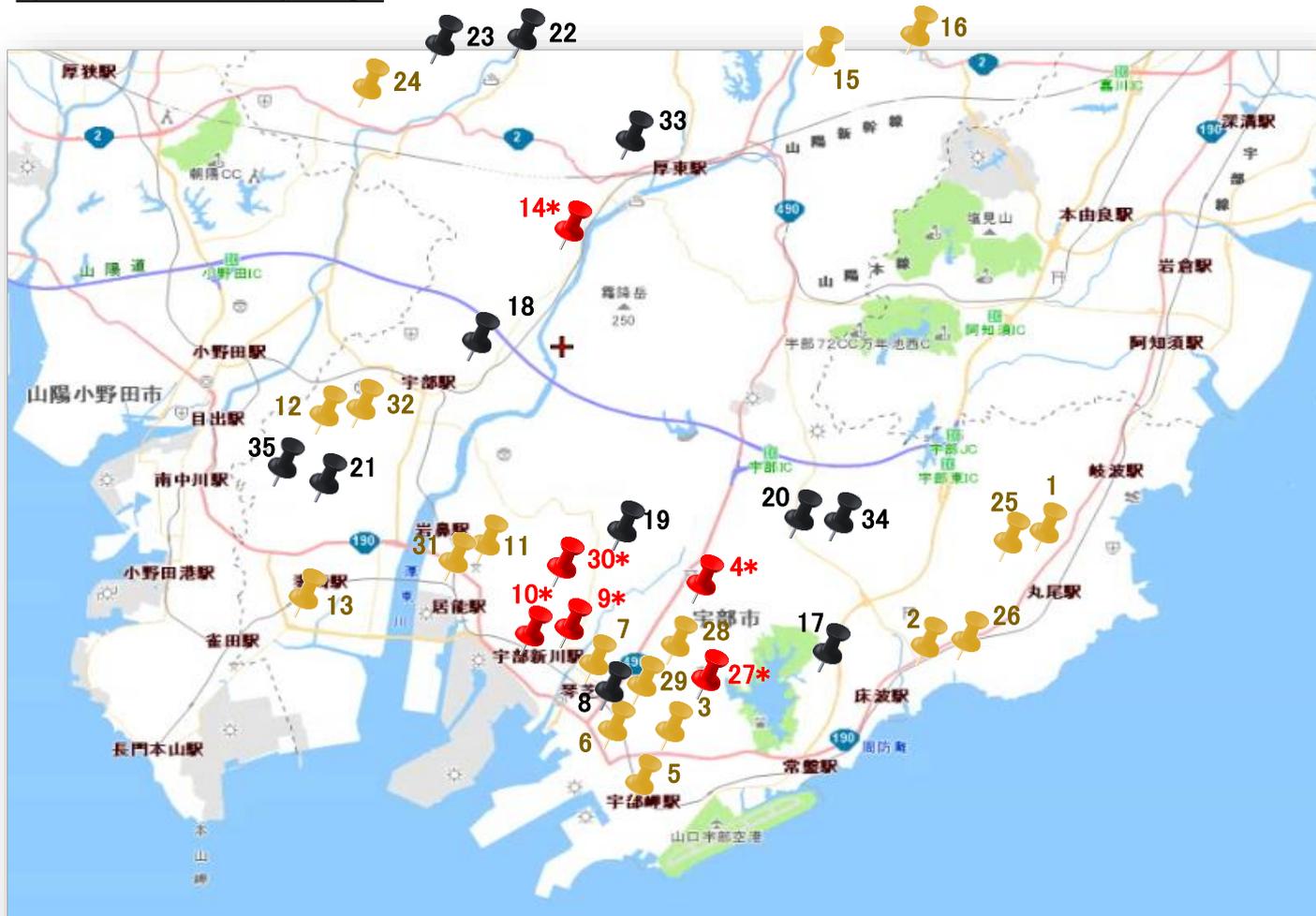
50mプール：廃止

25mプール：既存プールを代替施設として利用（小中学校プール、民間プール利用支援）

徒渉プール：臨時の子ども用プールを夏季限定で設置（設置場所は、恩田以外も検討）

# 6. 「学校プール」の現状 設置年

## 市内公立小中学校一覧



- |         |        |
|---------|--------|
| 1 東岐波小  | S41年度  |
| 2 西岐波小  | S40年度  |
| 3 恩田小   | S44年度  |
| 4 上宇部小  | S32年度* |
| 5 岬小    | S42年度  |
| 6 見初小   | S43年度  |
| 7 琴芝小   | S44年度  |
| 8 神原小   | H7年度   |
| 9 新川小   | S32年度* |
| 10 鶴の島小 | S32年度* |
| 11 藤山小  | S36年度  |
| 12 厚南小  | S39年度  |
| 13 原小   | S40年度  |
| 14 厚東小  | S32年度* |
| 15 二俣瀬小 | S41年度  |
| 16 小野小  | S42年度  |
| 17 常盤小  | S53年度  |
| 18 西宇部小 | S56年度  |
| 19 小羽山小 | S56年度  |
| 20 川上小  | H1年度   |
| 21 黒石小  | H6年度   |
| 22 吉部小  | S50年度  |
| 23 万倉小  | H16年度  |
| 24 船木小  | S40年度  |
| 楯中      |        |
| 25 東岐波中 | S42年度  |
| 26 西岐波中 | S39年度  |
| 27 常盤中  | S27年度* |
| 28 上宇部中 | S41年度  |
| 29 神原中  | S42年度  |
| 30 桃山中  | S28年度* |
| 31 藤山中  | S40年度  |
| 32 厚南中  | S43年度  |
| 33 厚東川中 | S45年度  |
| 34 川上中  | H2年度   |
| 35 黒石中  | H3年度   |

- ◆ 50年経過のプールが24校（約69%）である
- ◆ 中心部（東は山口宇部道路、西は厚東川、北は小羽山に囲まれた範囲）の15校中、13校が（約87%）が50年経過のプールである

下線は、設置から50年が経過  
\*は、設置から60年が経過

## 7. 「学校プール」の統廃合の可能性（メリット・デメリット）

### メリット

- ・集約による全体更新費用の縮減
- ・天候等に左右されない計画的授業の通年実施（屋内温水プールの場合）
- ・専門的指導の提供（市民プールの管理とあわせて水泳指導を民間委託した場合）

### デメリット

- ・移動時間の増加に伴う授業時間の確保
- ・維持管理費用の増加（屋内温水プールの場合）
- ・学校運営費用（バス運転経費）の増加
- ・部活動における利用の制限（市民利用との調整）
- ・指導委託費の増加（民間委託の場合）

# 8. 現時点で検討されている方向性の概要①

## 【公共のプールとして検討】

### 【学校プールの課題】

50年経過のプールが24校（約69%）、中でも中心部は15校中、13校（約87%）が50年経過。同時期に、耐用年数を超えるプールが多数ある。

⇒ リニューアル費用を抑える方法としては、「複数校でプールを共有する」



### 【市民プールの方向性】

50mプール：廃止

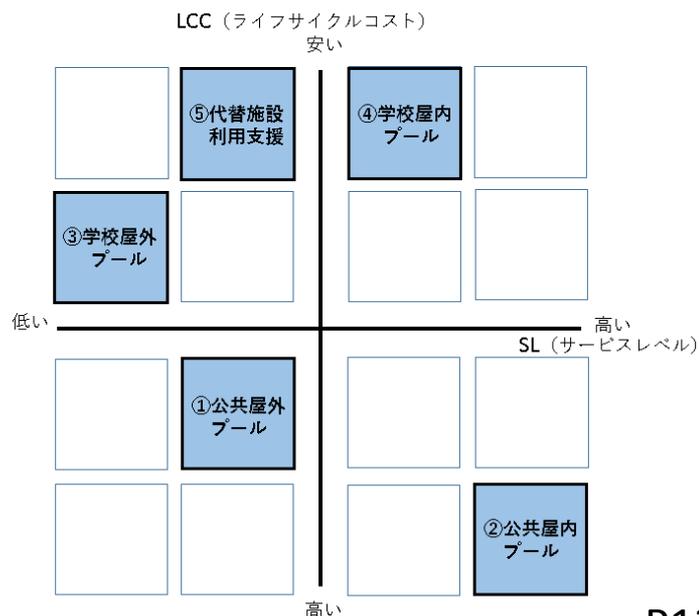
25mプール：既存プールを代替施設として利用（小中学校プール、民間プール利用支援）

徒渉プール：臨時の子ども用プールを夏季限定で設置（設置場所は、恩田以外も検討）

### 【25mプール】

- ・「公共プール建設」「学校プール開放」「代替施設利用」から検討
- ・学校プールについては、複数校の利用＋市民プール利用として算定
- ・公共（屋内・屋外）プールは、市民プール専用として算定

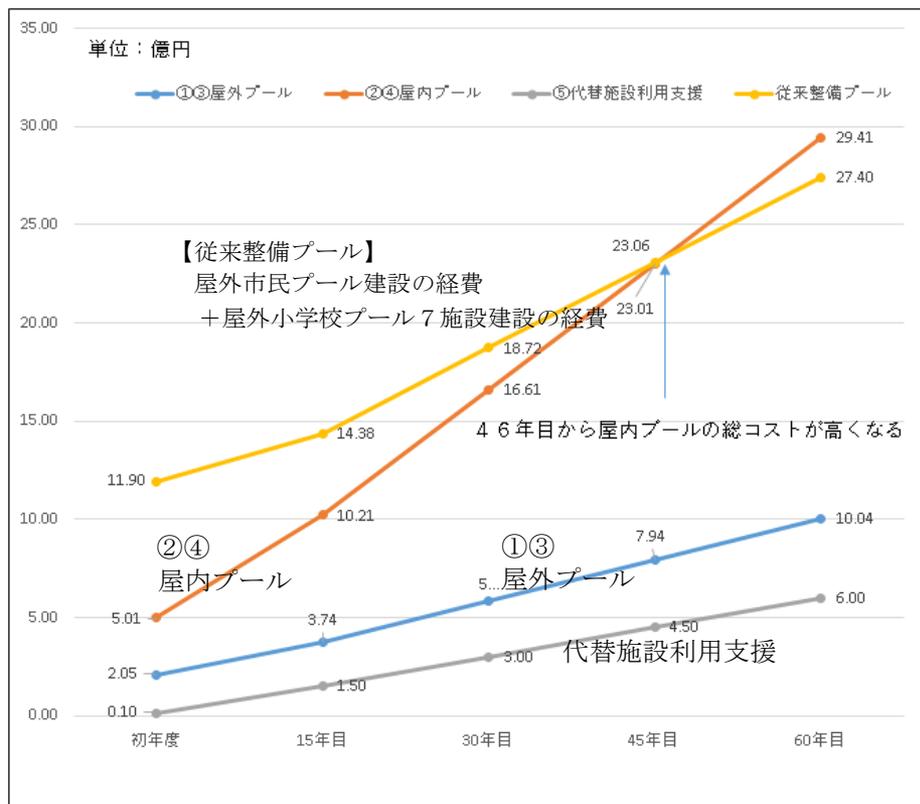
種類	開場期間 (SL)		費用(LCC)			
				建設費	運営費	
①公共屋外プール	△	60日（7月～8月）	△	25m、児童プール	194,500千円	11,000千円
②公共屋内プール	◎	300日（年中）	×	25m、児童プール	461,900千円	40,000千円
③学校屋外プール	×	45日（夏休み期間） 7月：PM利用	○	25m	194,500千円	10,000千円
④学校屋内プール	○	学校授業：平日 一般開放：土日祝、放課後	◎	25m、児童プール	461,900千円	40,000千円
⑤代替施設利用支援	-	-	◎	近隣のプール利用料への支援	-	10,000千円



# 8. 現時点で検討されている方向性の概要②

## 【プール種類別の総コスト比較】

- ・「従来整備プール」は、市民プール(1施設)、屋外学校プール(7小学校) を個別に新設した場合の総コスト。
- ・「屋内プール」は、平日の16時まで学校の授業で利用、平日17時以降と 学校が休みである土日祝、夏休みなど長期休暇中は一般開放として積算



(単位：億円)

	①③屋外プール	②④屋内プール	⑤代替施設利用支援	従来整備プール
初年度	2.05	5.01	0.10	11.90
15年目	3.74	10.21	1.50	14.38
30年目	5.84	16.61	3.00	18.72
45年目	7.94	23.01	4.50	23.06
60年目	10.04	29.41	6.00	27.40

### ◆屋外プール

メリット：イニシャルコストが安い

デメリット：開場期間が短い天候や水温の影響を受ける。

### ◆屋内プール

メリット：平日の日中は水泳の授業で使用するため、稼働率が高い。1年を通して利用できる。

デメリット：コストが高い

# 9. 「学校プール」の総コスト（屋外プール新設）

学校プール屋外新設

耐用年数	60年	建設費	140,000千円	屋外25mプール 管理棟(更衣室、シャワー、トイレ)
改修年数	15年	改修費	20,000千円	プールろ過設備ほか
		運営経費	800千円	水道料、電気料 <span style="float: right;">800千円</span>

経過年数	金額
15年間の総コスト	152,000千円
30年間の総コスト	184,000千円
45年間の総コスト	216,000千円
60年間の総コスト(LCC)	248,000千円



学校プールを新設



# 10. 「公共プール」の総コスト（屋内プール新設）

## 【公共屋内プール】

7校の学校プールを集約して共用利用、土日や夜は一般開放

- ・プール種類:25m(改修)
- ・開場期間 12か月:学校が利用しない日(300日)

耐用年数	60年	建設費	461,900千円	屋外25mプール 管理棟(更衣室、シャワー、トイレ)	
改修年数	15年	改修費	40,000千円	プールろ過設備ほか	
		運営経費	40,000千円	人件費、水道料、電気料、清掃費 施設利用料	50,000千円 10,000千円

経過年数	金額
15年間の総コスト	1,021,900千円
30年間の総コスト	1,661,900千円
45年間の総コスト	2,301,900千円
60年間の総コスト(LCC)	2,941,900千円

